

— はじめに —

中学受験のプロの声をもとに、最新のデータと近年の入試問題をとことん研究してつくられた教材——それが「社会ファイナル」です。

＜本書の使用方法＞

本書は大別すると、「ベーシック編」、「実戦編A」、「実戦編B」の3つの目的別に分類された問題構成となっています。以下はその内容と使用方法です。

ベーシック編：中学入試における、中堅校～上位校ランクの学校で8割方必要とされる基礎知識です。毎年多くの学校で普遍的に出題され、また、近年の入試傾向を反映した基礎知識を出題します。一問一答形式なので、素早く基礎知識の確認ができます。また、不確かな知識を反復学習で定着させることにも最適です。特に重要度が高い問題には☆印をつけているので、時間のないときや、最後のまとめなどに活用できます。

実戦編A：中学受験における、最上位ランクの学校で8割方必要とされる知識です。ベーシック編でも出題された普遍的な知識を、入試問題を通じて様々な角度で問うことで、その知識を定着させるための問題です。同じ答えでありながら、別の角度で問いかけたり、問題を解くために本文を読むことを通じて知識そのものの「背景」をとらえる訓練になっていきます。

※解き直しなどを行う際には、その問いのみの演習を行うのではなく、その問いが含まれている大問・本文ごともう一度復習していくとより効果的な学習が行えます。

実戦編B：中学受験における、最上位ランクの学校で合否の分かれ目を左右する1～2割の配点分をカバーする内容です。その場で与えられたテーマに対して、正しい基礎知識と、正しい思考のプロセスを持つことで、出題者の意図（つまり学校がどういう考えを持つ生徒を求めているか）を探求していきます。一見、難解な問題であっても、基礎知識とその場で提示された本文や資料や、一般常識的な感覚を結びつけることで解答が可能な問題です。

※課によって実戦編Bがないものもあります。

*ご家庭で学習する際には下記のようなご使用方法がございます。

- ①じっくり60日間コース…「ベーシック編」＋「実戦編A」により基礎知識の定着確認。
- ②直前30日間完成コース…「実戦編A」から解いていくことより定着力のチェック＋ベーシック編で苦手分野の補強を行う。
- ③最上級者コース…「実戦編B」のみを行い、最上位校に必要とされる視点や考えができているかを確認。

■ 目 次 ■

1	日本国憲法	P 2
2	国会	P 18
3	内閣・裁判所	P 31
4	地方自治・選挙・経済	P 40
5	国際社会・世界地理	P 56
6	地球的規模の環境問題	P 74
7	公民総合	P 89
8	3分野総合問題	P 94

公民¹ 日本国憲法

【ベーシック編】

1 次の（ ）にあてはまることばや数字を答えなさい。

☆1. 日本国憲法と大日本帝国憲法の比較

	日本国憲法	大日本帝国憲法
成立	公布…(1)年(2)月(3)日 (4)の日 施行…(5)年(6)月(7)日 (8)日	発布…(9)年2月11日 ※建国記念の日 施行…1890年11月29日
種類	民定憲法(国民がつくった)	(10)憲法(天皇がつくった)
主権	(11)にある。	(12)にある。
天皇の地位	国民及び日本国統合の象徴	万世一系、神格化された国家全ての総覧者
国会	国権の最高機関であり、唯一の立法機関である。 衆議院と参議院の二院制をとる。衆議院の優越がある。	天皇を助ける機関であり、立法権は天皇にある。 貴族院と衆議院の二院制で互いに対等である。
内閣	行政権の最高機関 衆議院との連帯責任	天皇の直接の命令で設立される。
裁判所	司法権の独立	天皇の名のもとの裁判
軍隊	戦力の不保持、国の(13)権を持たない	天皇が直接指揮→(14)権
人権	(15)人権の尊重 社会権(生存権など)を保障	臣民の権利として天皇から与えられた権利 法律により制限される。
義務	(16)・納税・教育	納税・兵役・(教育)
憲法改正	国会が発議 国民投票により決定	天皇が発議 議会で決定

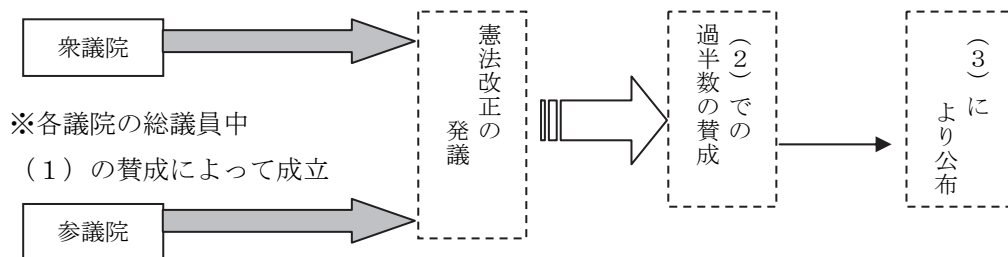
※政令によってその都度定められる。

☆2. 基本的人権の尊重について、（ ）にあてはまることばを答えなさい。

- (1) 権… (2) の自由—^{どれいできこうそく} 奴隷的拘束・強制労働からの自由を保障
 - ・ (3) の自由— (4) および良心の自由
 - (5) の自由
 - 集会・結社・表現の自由
 - 学問の自由
 - ・ (6) の自由—居住、移転・(7) ^{せんたく} 選択・私有財産の保持運用の自由
- (8) 権…法のもとの平等を保障した権利
- (9) 権… (10) 権→健康で文化的な最低限度の生活を営む権利
 - ・ (11) を受ける権利
 - ・ 勤労権
 - ・ 労働三権→ (12) 権…労働者が労働組合をつくる権利
 - (13) 権…労働者が使用者と対等に話し合う権利
 - (14) 権…労働者がストライキなどをする権利

- 基本的人権を守るための権利… (15) 権→選挙, 国民審査など
 (16) 権→裁判を受ける権利
 ○新しい権利…環境権, (17) の権利, 知る権利

3. 憲法改正の手続きについて, () にあてはまることばを答えなさい。



(日本国憲法第 96 条)

2 次の問いに答えなさい。

☆ 1 1889 年に日本で初めて定められた憲法を何といいますか。

()

2 1889 年に定められた憲法では, 国のあり方を決める権利はだれにありましたか。

()

☆ 3 日本国憲法が公布された年月日と, 施行された年月日をそれぞれ答えなさい。

公布… () 年 () 月 () 日

施行… () 年 () 月 () 日

4 日本国憲法の構成は前文と第何章, 第何条ですか。

第 () 章, 第 () 条

☆ 5 日本国憲法の三大原則とは何ですか。

() () ()

☆ 6 日本国憲法では天皇の地位を国民及び日本国統合の何であると定めていますか。

()

☆ 7 天皇は憲法で定められた形式的な仕事を行うように定められています。このような天皇の仕事を何と
 いいますか。

()

☆ 8 天皇が行う仕事に対して助言と承認を与える国の機関は何ですか。

()

9 民主主義を言い表す「人民の, 人民による, 人民のための政治」という言葉を残した, アメリカ大統領
 はだれですか。

()

☆ 10 人がこの世に生まれてきて幸せに生きることを保障した, だれも侵すことのできない永久の権利を何
 といいますか。

()

☆ 11 憲法で保障された権利の一つで, だれかの奴隷にされたりすることもなく, 自由に自分の考えを持つ
 て行動してよいことを保障している権利は何ですか。

()

- ☆12 人種や思想、男女の別や家柄などによって差別されないことを保障した権利を何といますか。
()
- 13 1985年に、職場における男女差別をなくすことを目的に定められ、1997年に改正された法律は何ですか。
()
- 14 男女が家庭や職場で対等に活動し、ともに責任を分担する社会をつくるため、1999年に定められた法律は何ですか。
()
- ☆15 憲法で保障された権利の一つで、だれでも人間らしく生活することを保障した権利を何といますか。また、その中でも特に「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する（第25条）」と憲法で定められている権利を何といますか。
() ()
- 16 国民が、人として幸福に生きることを保障した権利そのものを守る権利として定められているのは、裁判を受ける権利などについて定めた請求権と、もう一つは何ですか。
()
- ☆17 憲法を広い意味で解釈して、新しい権利として認められているものがあります。そのうちで、政治が正しく行われているかどうかを国民が知るために、情報の公開を求めることなどを保障した権利を何といますか。
()
- ☆18 他人に知られたくない個人の秘密を守る権利のことを何といますか。
()
- 19 国民が自分の幸福を追求することは憲法で保障されていますが、社会全体の利益のために制限されることもあります。この社会全体の利益のことを何といますか。
()
- ☆20 憲法で「戦争を永久に放棄すること」、「陸海空軍その他の戦力を保有しない」などの内容のことを定めているのは、前文のほかに第何条ですか。
第()条
- ☆21 他国から日本が攻撃を受けた際に防衛活動を行う国の機関を何といますか。また、この機関の前身が1950年に設立されました。当時の名称を答えなさい。
() ()
- ☆22 国民の三大義務にはどのようなものがありますか。
()
()
()
- 23 明治時代に制定された憲法で定められた国民の義務には、日本国憲法で定められた国民の義務にない条項があります。どのような内容ですか。
()

【実戦編A】

1. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

日本国憲法の前文には「(1)は国民にある」と書かれています。これは、政治の主人公は国民であり、政治は国民の考えによって行われることを意味しています。また日本国憲法では、第41条で「国会は国権の(2)であって、国の唯一の立法機関である」とし、国民の意思が国会によって達成されることを規定しています。

このように国民の意思を大切に制定された憲法も、公布されてから60年以上が過ぎました。現在に至るまで憲法については、どのような議論があったのでしょうか。特に憲法を改正すべきであるかどうかの問題となった、次の3点について考えてみます。

第一に、憲法第9条についてです。第9条では、外国との争いごとを武力で解決しない、そのために「陸海空軍その他の(3)は、これを保持しない」と定めています。(3)を持たないと定めた憲法は世界でも類を見ません。しかしこれまでに憲法第9条の解釈をめぐって、たとえば、自衛隊をどう考えたらよいか、という問題について、いろいろな判断が示されてきました。自衛隊は憲法で定められた(3)にあたらぬのでしょうか。その一方、憲法を改正すべきではないか、という考え方も示されてきました。自衛隊がまだ存在しなかった憲法の公布時とは異なり、現在では国際連合憲章で定められた国連軍派遣の問題なども生じてきているからです。2001年に首相に選ばれた小泉首相も、「自衛隊が軍隊でないという前提で何事も進めていくには、不自然な問題が残っている」と述べています。

憲法第9条をめぐっては、ほかにも(4)権の問題があります。(4)権とは、自国と密接な関係を持つ外国への攻撃に対し実力で共同防衛する権利です。この(4)権が日本国憲法上認められるかどうかについて、解釈が分かれています。いずれにせよ昨年から国際情勢の変化を見ていると、もし国家の枠組みを超えた脅威が生じた時に、日本政府は国際社会において何もしないでいられるのかという疑問が生まれます。これは、憲法解釈を離れた現実の問題としてとても重要な点です。

第二に、首相公選制の問題です。首相公選制は国民の直接選挙で首相を選ぶもので、国会の意思により首相を指名する、現在行われている(5)制とは異なります。現在の憲法には首相、すなわち内閣総理大臣は国会で選ばれ、国务大臣の過半数も(6)から選ばれると規定されています。つまり内閣は国会の信任のもとに成立し、国会との深いつながりを持っていますが、これが(5)制です。したがって、首相公選制を実現するためには、憲法改正が必要である、という考え方が示されてきたのです。この、首相を公選制にしたかどうかという案は、政権を担当している(7)だけでなく、野党からも主張されてきました。しかし、現在の政権(7)は憲法改正に必要な国会の議席の□aを有していません。一方では、首相公選制の実現よりも、(5)制がきちんと機能するようにするのが先である、議会で多数の支持がない人が公選されて首相になっても政治が不安定になるだけだ、という考えも示されています。

世界に目を移すと、国民が直接大統領を選ぶ国もあります。(5)制をとる国の首相もまた、特定政党の代表がなるのではなくて国民が直接に選ぶべきである、とする主張には考えさせられるものがあります。選挙の方法ではありません。直接民主制と間接民主制を比べた場合、国民の政治参加の意識を高める上では、間接民主制より、①直接民主制の方が望ましいといえます。

第三に、二院制の問題があります。国会は、衆議院及び参議院の二つの議院から成立しています。明治憲法の時代には、二院制は異なった階級の利益を代表するために設けられました。しかし今では、一方の議院の行き過ぎを他院がおさえるとともに□bという意味から二院制が採用されています。ただし現実には、日本の二院制では参議院が衆議院とあまり変わらない権限を持っており、このような制度は世界でもめずらしいと考えられています。

②衆議院の方が参議院より優越していることからは、憲法上あまり多くはありません。二院制を改正して一院制にすべきであるとか、権限にもっと差を設けるべきであるとかについては、長い間議論されてきました。

以上のように憲法第9条、首相公選制、二院制の問題について見てきましたが、これらはいずれも憲法改正の問題と深く関わっています。

それでは憲法を改正する場合の基本的立場はどこにあるべきでしょうか。結局のところ、国民が主体である民主政治をどこまで実現できるか、現在ではなくて、もっと先の日本がどうあるべきかを考えて、③憲法改正の検討をすべきではないでしょうか。

問1 文中の(1)～(7)にあてはまることばを漢字で答えなさい。

1 () 2 () 3 () 4 ()
5 () 6 () 7 ()

問2 下線部①について、次の文中の()にあてはまることばを漢字2文字で答えなさい。

「日本国憲法では地方自治のあり方を規定し、その中に直接民主制の原理を取り入れています。住民が()の制定や改廃を請求する権利もその一つです。」

()

問3 下線部②について、次のア～オの中で、衆議院が参議院より優越していないことばを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 条約の承認 イ 内閣総理大臣の指名 ウ 予算の議決
エ 内閣不信任 オ 臨時国会の召集

()

問4 下線部③について、次のア～エの中から、憲法改正について正しく述べたものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 憲法改正は重要な作業なので、他の法律の制定などとは切り離しておこなわれることになっている。憲法改正のために開かれる国会を特別国会という。

イ 新しい憲法が制定され、内閣総理大臣によって公布されると、新憲法と矛盾する古い憲法は無効となり、新しい憲法に合わせてほかの法律も作り直される。

ウ 憲法は全ての法律のもととなるので、憲法の改正はほかの法律の改正よりも難しくなっており、最終的に国民の過半数が賛成しなければ、これを改正することはできない。

エ 現代社会の国際化に対応するため、日本では在日外国人に地方議会への参政権が与えられた。これが憲法制定から今日までに行われた唯一の憲法改正である。

()

問5 にあてはまるものを、次のア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 過半数 イ 3分の1 ウ 3分の2 エ 4分の1 オ 4分の3

()

問6 にあてはまることばを12字以内で答えなさい。

()

2. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(ア) 日本国憲法の公布から60年以上がたちます。この憲法のもとで日本はめざましい発展をとげました。しかし最近、憲法を改正する必要があるという意見が出されています。わたしたちもここで日本国憲法について考えてみましょう。

日本は1945年8月に(1) 宣言を受け入れて連合軍に降伏しました。日本国憲法の歴史はこの日本の敗戦から始まります。戦後、日本を占領した連合軍総司令部最高司令官のマッカーサーは、日本政府に大日本帝国憲法の改正を求めました。(イ) 大日本帝国憲法では、国民の権利として信教の自由や言論の自由などを認めてはいましたが、それらは法律によって制限されました。また選挙権などにも制限がついていました。日本政府は、連合軍総司令部が示した案をもとにして新しい憲法草案を作り、国会での審議を経て日本国憲法として公布したのです。

日本国憲法には(ウ) 基本的人権の尊重、国民主権、平和主義の三つの基本原則があります。この中で特に注目しなければならないのが平和主義の原則です。この原則について独立した章を設けているのは日本国憲法の大きな特徴です。しかし、第二章第9条の条文については、世界情勢の変化に合わせて見直しが必要であるという意見も出されています。特に、自衛隊については、この条文との関係や自衛隊が参加する世界平和のための活動をめぐって、国民の間にさまざまな意見があります。

アメリカとソ連の二大国がそれぞれ中心となって対立した(2) の時代は終わりましたが、世界各地ではいまだに戦争が絶えません。これらの戦争を終わらせ、世界の平和と安全を維持するために国際連合の持つ力に注目が集まっています。日本は国際連合の常任理事国ではありませんが、先進国の一員として一定の役割を果たすことが各国から強く期待されています。

日本は国際社会の中でどのような役割を果たしたらよいのでしょうか。その時に忘れてはならないことは、日本が平和憲法を持つ国であるということです。憲法についての意見はいろいろありますが、わたしたちは今後も平和主義の精神を守り、国際社会の中で平和の尊さを訴え続けていくことが必要だと思います。

問1 文中の空欄(1)・(2)にあてはまる適切なことばをそれぞれ答えなさい。

1 ()・2 ()

問2 文章中の下線部(ア)について、日本国憲法が公布された日を記念して設けられた国民の祝日を次から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 勤労感謝の日 ② 文化の日 ③ 建国記念の日 ④ 憲法記念日

()

問3 文章中の下線部(イ)について、

(1) 大日本帝国憲法について述べた文として適切ではないものを次から一つ選び、番号で答えなさい。

- ① 大日本帝国憲法では、国民は臣民とよばれていた。
 ② 大日本帝国憲法は、天皇が国民にあたえるという形で発布された。
 ③ 大日本帝国憲法では、主権者は国民であるとされていた。
 ④ 大日本帝国憲法は、ドイツの憲法を手本として作られた。

()

(2) 25歳以上の男子すべてに選挙権を与える法律を制定したのと同時に、政治や社会のしくみを変えようとする人々の活動を取りしめる法律が制定されました。この法律を何といいますか。漢字で答えなさい。

()

問4 文章中の下線部(ウ)について、次の(あ)～(え)の行動は、日本国憲法で保障されている基本的人権のうち、どのような権利に基づいていますか。適切であると思われる権利を後の①～⑨の中からそれぞれ一つずつ選び、番号で答えなさい。

(あ)高齢者が年金を受け取る。 (い)芸術家が作品を発表する。

(う)署名を集めて議会に提出する。 (え)政治家が演説会を開く。

① 結社の自由 ② 請求権 ③ 言論の自由

④ 平等権 ⑤ 表現の自由 ⑥ 団結権

⑦ 信教の自由 ⑧ 生存権 ⑨ 居住の自由

(あ) () (い) () (う) () (え) ()

3. 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

20世紀という時代は私たち日本人の歴史の中でも、とても大事な時代でした。

前半の約50年間は、第二次世界大戦でアメリカやイギリスなどの連合国に敗れ、民主主義国家として新しく生まれ変わり、経済的にも大きく成長した時代です。私たちの生活を考えると、日本が民主主義国となったことがとても大切な意味を持っています。

①憲法が改正され、天皇主権の国から②国民主権の国になったのは、1946年のことです。それとともに議会のしくみ、内閣のしくみ、裁判所のしくみなども変わりました。それに、私たちの暮らしに身近な地方自治のしくみも大きく変わりました。

さらに、わたしたちが人として持っている権利、基本的人権の内容も、旧憲法に比べると大きく変わりました。たとえば、③すべての国民は平等であるという権利が新しく保障され、旧憲法にあった④自由権も大きく拡大されました。また、⑤社会権とよばれる人権も新しく保障された権利です。

こういった歴史の流れを踏まえて、私たちは次の21世紀にさらに暮らしやすい、すばらしい国にしていく努力をしなければなりません。

問1 下線部①の憲法改正に関して、旧憲法と比べて変化した内容として誤っているものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 最高裁判所の裁判官がよいかどうか、国民審査ができるようになりました。

イ 内閣総理大臣の権限が強くなりました。

ウ 国会は、天皇の統治権を助けるために、国家の最高機関となりました。

エ 学問を自由に研究できるようになりました。

オ 国民には、兵士になる義務がなくなりました。

()

問2 下線部②の国民主権に関して、内容が誤っているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 天皇の地位は、国民の総意に基づくものとされています。

イ 国民の代表で構成する国会が、国権の最高機関とされています。

ウ 天皇の行う仕事は、内閣の助言と承認を必要とし、内閣がその責任を負います。

エ 天皇の位は、国民の代表である国会が承認した皇族によって継がれることになっています。

()

問3 下線部③の平等に関する憲法の条文で、内容が誤っているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア すべての国民は、個人として尊重される点で平等となっています。

- イ 人権や性別や社会的な身分のちがいに、様々な差別をしてはいけないことになっています。
- ウ 旧憲法にあった華族制度など、貴族の制度は認められないことになっています。
- エ 個人に対する、あらゆる栄典の授与は認められないことになっています。

()

問4 下線部④の自由権の保障に関して、内容が誤っているものを、次のア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 信教の自由が保障されていて、学校などあらゆる教育機関で宗教教育を行ってはいけないことになっています。
- イ 検閲してはいけないし、通信の秘密を侵すことは禁止されています。
- ウ だれでも外国に移住したり、国籍を離脱する自由をもっています。
- エ 思想や良心の自由はだれでも侵してはいけないことになっています。
- オ 言論、出版、表現の自由が保障されています。

()

問5 下線部⑤の社会権に関して、内容が誤っているものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 憲法はすべての国民に、健康で文化的な高い水準の生活を保障しています。
- イ 憲法はすべての国民に、能力に応じて、等しく教育を受ける権利を保障しています。
- ウ 憲法はすべての国民に、勤労の権利を保障しています。
- エ 憲法は勤労者に団結する権利、団体で交渉する権利、団体行動をする権利を保障しています。

()

4. 山本君は、社会科の自由研究で、「大日本帝国憲法」と「日本国憲法」の特色を表にまとめてみることにしました。山本君の作った次の表をよく見て、後の問いに答えなさい。

	大日本帝国憲法	日本国憲法
主権	天皇が持つ	「 A 」
内閣	天皇の命令でつくられた	(B) で決めた内閣総理大臣が、内閣を組織する
議会	①衆議院と貴族院	衆議院と参議院
基本的人権	法律で制限できる	②永久に国民から奪うことができない
軍隊	存在した	③存在しない
国民の義務	納税・兵役	納税・(C)・勤労

(1) 「A」にあてはまる文として正しいものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 天皇は象徴であり、国の政治に対する権限を持っている。
- イ 天皇は象徴であり、国の政治に対する権限を持たない。
- ウ 天皇は主権者であり、国の政治に対する権限を持っている。
- エ 天皇は主権者であり、国の政治に対する権限を持たない。

()

(2) (B) にあてはまることばをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 選挙管理委員会
- イ 国会
- ウ 最高裁判所
- エ 国際連合

()

(3) 下線部①の説明文として正しいものをア～オから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 衆議院議員と貴族院議員は、ともに国民の選挙によって選ばれた。
- イ 衆議院議員は天皇が直接任命し、貴族院議員は国民の選挙によって選ばれた。
- ウ 衆議院議員と貴族院議員は、ともに天皇が直接任命し選挙は行われなかった。
- エ 衆議院議員は国民の選挙によって選び、貴族院議員は天皇が直接任命していた。
- オ 衆議院議員は国民の選挙によって選び、貴族院議員は内閣が直接任命していた。

() ()

(4) 下線部②に関して、「日本国憲法」に定められている基本的人権の中で、社会権と呼ばれる権利に分類されるものをア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 健康で文化的な生活をする権利
- イ 仕事に就いて働く権利
- ウ 自分の考えを主張する権利
- エ 差別的なあつかいをされない権利
- オ 自分の好む宗教を信じる権利

() ()

(5) 下線部③に関連して、日本の平和主義の説明文として正しいものをア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

- ア 日本の平和主義は、「日本国憲法」の前文と第7条に定められている。
- イ 自衛隊は、緊急の場合に限り、よその国に戦争をしかけることができる。
- ウ 自衛隊の装備は、戦力ではないとするのが政府の見解である。
- エ 最高裁判所が1968年に決めた「非核三原則」が、核兵器に対する日本の基本方針となっている。
- オ 「日本国憲法」前文には、世界のすべての国民が平和に暮らす権利を持っていると定められている。

() ()

(6) (C)にあてはまるものをア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 教育に加わる
- イ 教育を受ける
- ウ 教育を受けさせる
- エ 教育を選択する

()

(7) 次の文は、「日本国憲法」を改正する場合の手続きについてまとめたものです。文中の(あ)・(い)にあてはまることばを後の〔語群〕から選び、それぞれ記号で答えなさい。

「日本国憲法は、国会の衆議院と参議院の総議員の(あ)の賛成を得て、さらに国民投票で(い)の賛成を得ないと改正ができないしくみになっている。」

〔語群〕

- ア 4分の1以上
- イ 3分の1以上
- ウ 過半数
- エ 3分の2以上
- オ すべて

あ() い()

5. 次の文章と資料を読んで、後の問いに答えなさい。

いろいろな決まりを法律として決め、それをもとに治めている国を「法治国家」といいます。法治国家として、日本にもさまざまな法律があります。その中でも最も基本になる法が「憲法」です。どんな法律も憲法に反するものは認められません。

次の資料は日本国憲法の条文を抜き出したものです。(一部やさしく書き直したところもあります。)

【資料】

第14条 すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は家がらにより、政治的、経済的、又は社会的関係において差別されない。

第15条 公務員を選定したりやめさせたりすることは、国民にもとからある権利である。

- 第 18 条 何人も（どんな人でも）、どれいのように自由を制限されることはない。又、犯罪による処罰の場合を除いては、その意に反する苦役に服させられない。
- 第 19 条 思想及び良心の自由はこれを侵してはならない。
- 第 20 条 信教の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から特権を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。国及びその機関は、宗教教育その他いかなる宗教的活動もしてはならない。
- 第 21 条 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。
- 第 22 条 何人も、公共の福祉に反しない限り、居住、移転及び職業選択の自由を有する。
- 第 23 条 学問の自由は、これを保障する。
- 第 25 条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。
- 第 27 条 すべて国民は、勤労の権利を有し、義務を負う。
- 第 30 条 国民は、法律の定めるところにより、納税の義務を負う。

問 1 次の例は、憲法が保障する基本的人権が侵害されたとして裁判になった事件です。どのような権利が侵害されたと訴えたのですか。それぞれ後のア～エから選んで答えなさい。また、関係の深い憲法の条文を資料から選びなさい。

- (1) A社では定年が男子 55 才、女子 50 才と会社の規則に定められていたが、女子社員の B さんはこれを不服として、裁判所に訴えた。
- (2) C さんは生活保護と年金を受けていたが、その中から将来のために一部を貯金に回したところ、「財産」があると見なされ、保護費をけずられた。C さんはこれを不服として訴えた。
- (3) 三重県の津市で、新しく市立体育館を建てるときに地鎮祭（無事に工事ができるように祈る神社の儀式）を行い、その費用も市のお金から出したとして、市民が市長を訴えた。

ア 信教の自由	イ 平等権	ウ 生存権	エ 身体の自由
---------	-------	-------	---------

(1) () () (2) () () (3) () ()

問 2 憲法では、国民に権利だけでなく義務も定めています。国民に課せられた三つの義務のうち、資料中にないものを答えなさい。

()

問 3 「新しい人権」ということばがあります。このことばを説明している文として正しいものを選びなさい。

- ア 21 世紀に入り、人権の考え方が大きく変化したことによって憲法に加えることが決まっている人権のこと。
- イ 憲法の条文には特に書かれていないが、時代の変化の中で認められるようになってきた人権のこと。
- ウ 高度経済成長期に、国会の審議で認められた人権のこと。
- エ 大日本帝国憲法にはなかったが、戦後、新しい憲法ができたときに認められた人権のこと。

()

問 4 「知る権利」への要求が高まってきたために、2001 年 4 月から施行された法律の名前を答えなさい。

()

問 5 下線部について、裁判所には法律が憲法に違反していないか審査する権限があります。この権限を何とといいますか。

()